

電気情報工学科 (旧電気一部・旧情報)

電気情報工学科の近況



工学研究科教授・電気情報工学科主任

阿多 信吾

卒業生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

2020年は、新型コロナウイルスによりこれまでにない1年となりそうです。本学では4月からの前期授業はすべて遠隔、一部の実験・実習については7月以降に集中で対面実施など、未経験のできごとの連続ですが、大学での研究教育、そして学生の学びが止まることがないよう、学科教員一丸となってこの難局に立ち向かっております。2020年度入学の1年生49名は、入学式も中止となり合格以来キャンパスに入ることもできませんでしたが、7月に教員・友達同士と初の対面ガイダンスを行い、ようやく大学生らしさを感じられたようでした。後期からは一部対面授業も導入され、少しずつキャンパスに活気が戻りつつあります。

教員人事についてですが、2020年3月をもって辻本浩章教授、杉山久佳准教授が定年によりご退職、林和則教授が京都大学へとご転出されました。4月から野口博史准教授をお迎えし、スマートセンシング工学分野をご担当いただいております。そして、非常に悲しいお知らせとなりますが、原晋介教授が

8月に不慮の事故により急逝されました。原先生にはこれまで電気情報工学科の牽引役として、また新大学情報学研究科の設立に向けて多大なるご尽力をいただいていたところであり、あまりにも急な訃報に接し、ただただ残念でなりません。原先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。

このような激動のなかでも、電気情報工学科は昨今の情報分野へのニーズの高まりもあり、順調に就職が内定しております。

2022年4月にはいよいよ大阪公立大学（仮称）が開学予定ですが、電気情報工学科は、学部では情報工学科、電気電子システム工学科、電子物理工学科、大学院では情報学研究科（基幹情報学専攻、学際情報学専攻）、工学研究科（電気電子系専攻、電子物理系専攻）に分かれて活動することになります。新大学でも大阪市立大学と同様、学生ひとりひとりと向き合った丁寧な研究教育を行っていきたいと考えております。

最後に、卒業生の皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念いたしますと共に、引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。